

■シンガポール：電力先物取引制度、4月から試験運用

エネルギー市場監督庁（EMA）は2014年2月17日、10月に卸電力市場への電力先物取引制度の導入を目指して、試験運用（午後2時～5時の運用）を4月から始めると発表した。試験運用にはYTL Power Seraya や Senoko Power、Tuas Power など主要な発電事業者が参加する。同制度の運用・管理は、シンガポール株式取引所（SGX：Singapore Exchange）が担う。電力先物取引制の導入目的は、燃料価格の変動の影響を受けにくい市場を構築することにある。